

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	(資格取得) 園芸装飾		履修区分	必修	選択	
受講対象	1、2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	1、2年次前期	時間数	120		単位数	4
授業概要	国家資格である園芸装飾技能士2、3級の 実技試験ならびに学科試験の受験対策を 演習にて実施する。	到達目標	各受検級に合格できる水準まで指導する が、成績優秀者賞（95点以上）の受賞者 を一人でも多く輩出できるように努めて いく。			
担当教員	折笠 一仁、伊藤 弘充					
実務経験と 授業との関わり	(折笠) 長年にわたり装飾会社に勤務したのち折笠園芸として独立をした。両名とも園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。					
テキスト・教材	園芸装飾学科過去問題集					
成績評価方法	実技演習における習熟度と最終回行う全授業の指導内容について理解しているかを問う筆記試験で総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	3級デモンストレーション	3級図面の解説と理解	
2	3級デモンストレーション	完成と評価のポイント	
3	2級デモンストレーション	2級図面の解説と理解	
4	2級デモンストレーション	完成と評価のポイント	
5	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
6	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
7	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
8	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
9	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
10	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
11	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
12	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
13	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
14	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
15	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
16	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
17	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
18	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
19	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
20	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
21	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
22	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
23	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
24	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
25	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
26	2級、3級の学科・実技練習	各級の実技演習指導、学科対策指導	
27	試験直前指導	各級の実技試験を想定した一連の練習指導	
28	試験直前指導	各級の実技試験を想定した一連の練習指導	
29	試験直前指導	各級の実技試験を想定した一連の練習指導	
30	試験直前指導	各級の実技試験を想定した一連の練習指導	
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は評価対象外となる。		備考

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	(資格取得) フラワー装飾2級		履修区分	必修	選択	
受講対象	1、2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	1、2年次前期	時間数	45		単位数	1.5
授業概要	花束、アレンジ、ブーケなどの基本的な制作技術を身に付ける。	到達目標	フローリストの基本的な技術を身に付けフラワー装飾技能士2級を取得することを目標とする。			
担当教員	非常勤講師					
実務経験と授業との関わり	フラワースクールの講師や検定員などの経験からフラワー装飾2級の取得に必要な技術を指導することができる。					
テキスト・教材	花材、資材					
成績評価方法	実技試験	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	アレンジメント①	トライアングラー	
2	アレンジメント②	ファン	
3	アレンジメント③	水平線	
4	ブーケ①	キャスケードブーケ	
5	ブーケ②	クレセントブーケ	
6	ブーケ③	キャスケード/クレセントブーケ	
7	花束①	花束Aタイプ	
8	花束②	花束Bタイプ	
9	花束③	Aタイプ/Bタイプ	
10	タイムトライアル①	全パターン	
11	タイムトライアル②	全パターン	
12	タイムトライアル③	全パターン	
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は評価対象外となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	(資格取得) フラワー装飾3級		履修区分	必修	選択	
受講対象	1、2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	1、2年次前期	時間数	90		単位数	3
授業概要	花束、アレンジ、ブートニア、リボンなどの基本的な制作技術を身に付ける。	到達目標	フローリストの基本的な技術を身に付け、フラワー装飾技能士3級を取得することを目標とする。			
担当教員	柿沼 真吾					
実務経験と授業との関わり	フラワーショップで10年間の勤務経験があるため、店頭販売、ブライダル業務、フェーネラル業務などの経験がある他、フラワー装飾技能士1級と職業訓練指導員を取得している。よって、ポイントを押さえながら制作方法や注意点等を的確に指導することができる。					
テキスト・教材						
成績評価方法	実技試験	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	試験概要説明	道具の使い方/リボン・テーピング	
2	リボンワーク	ブートニア	
3	花束①	花束/ブートニア	
4	花束②	花束/ブートニア	
5	花束③	花束/アレンジメント	
6	花束④	花束/アレンジメント	
7	花束⑤	花束/アレンジメント	
8	タイムトライアル①	全パターン	
9	タイムトライアル②	全パターン	
10	タイムトライアル③	全パターン	
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は評価対象外となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	(資格取得) 造園2級		履修区分	必修	選択	
受講対象	1、2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	1、2年次前期	時間数	120		単位数	4
授業概要	2級造園技能士の実技試験の課題について、制限時間内に正確に美しく仕上げられるように繰り返し練習する。	到達目標	造園施工をする上で知っておくべき技術が多く含まれているので全員が身につくようにする。 また全員合格を目標とする。			
担当教員	鈴木 常美、橋本 真改、阿部 亜沙美					
実務経験と授業との関わり	(鈴木)は長年個人庭および公園等の公共事業に携わり、公共緑化空間の設計・施工・管理の実務に明るいため、実践的な内容を指導することができる。(橋本)造園会社での経験が豊富である。(阿部)フラワーパークでの植栽・管理経験あり。					
テキスト・教材						
成績評価方法	出席状況、実習態度と模擬試験の成績を総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	造園技能士について ガイダンス	ガイダンス、施工手順の説明、ロープワーク	
2	課題作成	部分毎に解説をしながら課題作成	
3	課題作成	部分毎に解説をしながら課題作成	
4	課題作成	通し練習（正確に）	
5	課題作成	通し練習（正確に）	
6	課題作成	通し練習（正確に）	
7	課題作成	通し練習（早く）	
8	課題作成	通し練習（正確に）	
9	課題作成	通し練習（早く）	
10	課題作成	通し練習（正確に）	
11	課題作成	通し練習（早く・正確に）	
12	課題作成	通し練習（早く・正確に）	
13	課題作成	通し練習（早く・正確に）	
14	課題作成	模擬試験、反省と解説	
15	課題作成	最終仕上げ	
他教科との関連 造園施工他	欠席者に対するペナルティ 実習においては授業内で実習課題。出席時数が3分の2に満たない場合は評価対象外となる。		備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	(資格取得) 造園3級		履修区分	必修	選択	
受講対象	1、2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	1、2年次前期	時間数	120		単位数	4
授業概要	3級造園技能士の実技試験の課題について、制限時間内に正確に美しく仕上げられるように繰り返し練習する。	到達目標	造園施工をする上で知っておくべき基本的技術が多く含まれているので全員が身につくようにする。また全員合格を目標とし、次年度2級受験を目指す。			
担当教員	鈴木 常美、橋本 真改、阿部 亜沙美					
実務経験と授業との関わり	(鈴木)は長年個人庭および公園等の公共事業に携わり、公共緑化空間の設計・施工・管理の実務に明るいため、実践的な内容を指導することができる。(橋本)造園会社での経験が豊富である。(阿部)フラワーパークでの植栽・管理経験あり。					
テキスト・教材						
成績評価方法	出席状況、実習態度と模擬試験の成績を総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	造園技能士について ガイダンス	ガイダンス、施工手順の説明、ロープワーク	
2	課題作成	部分毎に解説をしながら課題作成	
3	課題作成	部分毎に解説をしながら課題作成	
4	課題作成	部分毎に解説をしながら課題作成	
5	課題作成	通し練習（正確に）	
6	課題作成	通し練習（正確に）	
7	課題作成	通し練習（早く）	
8	課題作成	通し練習（正確に）	
9	課題作成	通し練習（早く・正確に）	
10	課題作成	通し練習（早く・正確に）	
11	課題作成	模擬試験、反省と解説	
12	課題作成	通し練習（早く・正確に）	
13	課題作成	通し練習（早く・正確に）	
14	課題作成	2級課題練習	
15	課題作成	2級課題練習、練習場整備	
他教科との関連 造園施工他		欠席者に対するペナルティ 実習においては授業内で実習課題。出席時数が3分の2に満たない場合は評価対象外となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	(資格取得) 商品装飾展示3級		履修区分	必修	選択	
受講対象	2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前期	時間数	15		単位数	0.5
授業概要	商品装飾展示技能士3級に合格するための知識と技術を習得する。	到達目標	商品装飾展示技能士3級レベルの技術と知識の習得を目指す。			
担当教員	室伏 英男					
実務経験と授業との関わり	フリーランスで有名百貨店や多くの企業のディスプレイデザインを手がけている。また、商品装飾展示技能士1級も取得しているため、的確な指導ができる。					
テキスト・教材	商品装飾展示技能検定ガイドブック学科編（織研出版社）、商品装飾展示技能検定ガイドブック実技編（織研出版社）、VMD用語事典（エポック出版）					
成績評価方法	最終回に実際の試験を用いた実技試験を行い、その得点で評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	実技練習	問題に提示されている実技の練習	
2	総合練習	時間配分、チェック、最終模擬試験	
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は評価対象外となる。		備考 学科試験対策は5～7月の昼休みに行う

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	(資格取得) 日本農業技術検定2級		履修区分	必修	選択	
受講対象	1、2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	1、2年次前期	時間数	30		単位数	1
授業概要	日本農業技術検定2級に合格するための知識を学習する。	到達目標	日本農業技術検定2級に合格できるような知識の習得を目指す。			
担当教員	高山 晃					
実務経験と授業との関わり	花き生産に従事しているため、農業に関わる基本的な知識、技術を習得している。よって、農業の基本的な知識を体系立てて指導することができる。					
テキスト・教材	日本農業技術検定2級テキスト（全国農業高等学校長協会）、日本農業技術検定傾向と対策（全国農業高等学校長協会）、高等学校農業用教科書（野菜または草花）（実教出版）、プリント					
成績評価方法	途中数回行う試験や最終回に行う模擬試験の得点で評価する。また、実際の試験に合格した場合はその結果も加味する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	検定受験指導	試験の概要、学習の方法、現在の實力を知る（過去検定試験）	
2	検定受験指導	野菜・花卉共通講義	
3	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
4	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
5	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
6	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
7	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
8	検定受験指導	まとめと模擬試験	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は評価対象外となる。		備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	(資格取得) 日本農業技術検定3級		履修区分	必修	選択	
受講対象	1、2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	1、2年次前期	時間数	30		単位数	1
授業概要	日本農業技術検定3級に合格するための知識を学習する。	到達目標	日本農業技術検定3級に合格できるような知識の習得を目指す。			
担当教員	高山 晃					
実務経験と授業との関わり	花き生産に従事しているため、農業に関わる基本的な知識、技術を習得している。よって、農業の基本的な知識を体系立てて指導することができる。					
テキスト・教材	日本農業技術検定3級テキスト（全国農業高等学校長協会）、日本農業技術検定傾向と対策（全国農業高等学校長協会）、高等学校農業用教科書（農業と環境）（実教出版）、プリント					
成績評価方法	途中数回行う試験や最終回に行う模擬試験の得点で評価する。また、実際の試験に合格した場合はその結果も加味する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	検定受験指導	試験の概要、勉強の進め方 現在の実力を知る（過去検定試験）	
2	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
3	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
4	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
5	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
6	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
7	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
8	検定受験指導	まとめと模擬試験	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は評価対象外となる。		備考



2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	(資格取得) 日本農業技術検定2級		履修区分	必修	選択
受講対象	1、2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	1、2年次後期	時間数	30		単位数 1
授業概要	日本農業技術検定2級に合格するための知識を学習する。	到達目標	日本農業技術検定2級に合格できるような知識の習得を目指す。		
担当教員	高山 晃				
実務経験と授業との関わり	花き生産に従事しているため、農業に関わる基本的な知識、技術を習得している。よって、農業の基本的な知識を体系立てて指導することができる。				
テキスト・教材	日本農業技術検定2級テキスト（全国農業高等学校長協会）、日本農業技術検定傾向と対策（全国農業高等学校長協会）、高等学校農業用教科書（野菜または草花）（実教出版）、プリント				
成績評価方法	途中数回行う試験や最終回に行う模擬試験の得点で評価する。また、実際の試験に合格した場合はその結果も加味する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	検定受験指導	試験の概要、学習の方法、現在の實力を知る（過去検定試験）	
2	検定受験指導	野菜・花卉共通講義	
3	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
4	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
5	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
6	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
7	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
8	検定受験指導	まとめと模擬試験	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は評価対象外となる。		備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	(資格取得) 日本農業技術検定3級		履修区分	必修	選択
受講対象	1、2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	1、2年次後期	時間数	30		単位数 1
授業概要	日本農業技術検定3級に合格するための知識を学習する。	到達目標	日本農業技術検定3級に合格できるような知識の習得を目指す。		
担当教員	高山 晃				
実務経験と授業との関わり	花き生産に従事しているため、農業に関わる基本的な知識、技術を習得している。よって、農業の基本的な知識を体系立てて指導することができる。				
テキスト・教材	日本農業技術検定3級テキスト（全国農業高等学校長協会）、日本農業技術検定傾向と対策（全国農業高等学校長協会）、高等学校農業用教科書（農業と環境）（実教出版）、プリント				
成績評価方法	途中数回行う試験や最終回に行う模擬試験の得点で評価する。また、実際の試験に合格した場合はその結果も加味する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	検定受験指導	試験の概要、勉強の進め方 現在の実力を知る（過去検定試験）	
2	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
3	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
4	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
5	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
6	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
7	検定受験指導	講義および演習（範囲別問題、過去検定試験）	
8	検定受験指導	まとめと模擬試験	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は評価対象外となる。		備考

2019年度 シラバス (授業細目表)

科目名	(資格取得) 色彩検定2級		履修区分	必修	選択
受講対象	1、2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	1、2年次後期	時間数	30		単位数 1
授業概要	3級の内容に加え、色のUD、照明、表色系、色彩調和、ビジュアル、ファッション、インテリア、景観色彩などの基本事項を理解する。	到達目標	色彩検定2級合格を目指す。		
担当教員	江副 好美				
実務経験と授業との関わり	大学・専門学校での講義を受けもつほか、パッケージデザイン、インテリアデザイン、ファッションコンサルティング等の実務に携わっている。講師経験や企業での豊富な実務経験はもとより、執筆、色彩講師の育成、色彩教材の企画制作を手掛けているため、理論的、かつ実践的な指導を行うことができる。				
テキスト・教材	色彩検定2級公式テキスト (AFT)、過去問題プリント				
成績評価方法	最終回に行う模擬試験の得点で評価する。また、実際の試験に合格した場合はその結果も加味する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	検定受験指導	光と色 I 色のユニバーサルデザイン	
2	検定受験指導	光と色 II 色彩調和 I	
3	検定受験指導	色彩調和 II 配色イメージ	
4	検定受験指導	色の表示 I 慣用色名	
5	検定受験指導	色彩心理 ビジュアル	
6	検定受験指導	ファッション インテリア	
7	検定受験指導	景観色彩 模擬試験	
8	検定受験指導	模擬試験解説、過去問題解説 総復習	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 カラーコーディネート、 (資格取得) 色彩検定3級		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は評価対象外となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	(資格取得) 色彩検定3級		履修区分	必修	選択
受講対象	1、2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	1、2年次後期	時間数	30		単位数 1
授業概要	光と色、色の分類と三属性、色彩心理、色彩調和、配色イメージ、ファッション、インテリアなどなどの基本事項を理解する。	到達目標	色彩検定3級合格を目指す。		
担当教員	江副 好美				
実務経験と授業との関わり	大学・専門学校での講義を受けもつほか、パッケージデザイン、インテリアデザイン、ファッションコンサルティング等の実務に携わっている。講師経験や企業での豊富な実務経験はもとより、執筆、色彩講師の育成、色彩教材の企画制作を手掛けているため、理論的、かつ実践的な指導を行うことができる。				
テキスト・教材	色彩検定3級公式テキスト（AFT）、過去問題プリント				
成績評価方法	最終回に行う模擬試験の得点で評価する。また、実際の試験に合格した場合はその結果も加味する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	検定受験指導	色のはたらき 光と色Ⅰ	
2	検定受験指導	光と色Ⅱ 色の表示Ⅰ	
3	検定受験指導	色の表示Ⅱ 慣用色名	
4	検定受験指導	色彩心理Ⅰ 色彩心理Ⅱ	
5	検定受験指導	色彩調和Ⅰ 色彩調和Ⅱ	
6	検定受験指導	配色イメージ ファッション	
7	検定受験指導	インテリア 模擬試験	
8	検定受験指導	模擬試験解説、過去問題解説 総復習	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 カラーコーディネート、 (資格取得) 色彩検定2級		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は評価対象外となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	(資格取得) NFD		履修区分	必修	選択	
受講対象	1、2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	1、2年次後期	時間数	30		単位数	1
授業概要	日本フラワーデザイナー資格検定(NFD)に合格するための知識、技能を習得する。	到達目標	日本フラワーデザイナー資格検定(NFD)に合格できるような知識、技能の習得を目指す。			
担当教員	牛久保起佐子					
実務経験と授業との関わり	長年、ホテルでのブライダル装飾に携わっていた他、日本フラワーデザイナー協会の講師、職業訓練指導員の免許も持つ。よって、知識や技術はもちろんであるが、的確にわかりやすく指導することができる。					
テキスト・教材	NFDフラワーデザイナー資格検定試験テキスト（日本フラワーデザイナー協会）、花材					
成績評価方法	最終回に行う実技試験の得点で評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	検定受験指導	3級 共同形態 (アレンジ) 2級 巻かれたもの (アレンジ)	
2	検定受験指導	3級 植生的 (アレンジ) 2級 高く挿された (アレンジ)	
3	検定受験指導	3級 並行 植生的、装飾的 (アレンジ) 2級 静止と動き (アレンジ)	
4	検定受験指導	3級 構造的 (アレンジ) 2級 自然的、交差 (アレンジ)	
5	検定受験指導	3級 丸い花束 2級 装飾的花束	
6	検定受験指導	3級 装飾的花嫁の花束 2級 水平の花束	
7	検定受験指導	3級 丸い花嫁の花束 2級 非対称の花嫁の花束	
8	検定受験指導	実技試験	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は評価対象外となる。		備考

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	(資格取得) POP		履修区分	必修	選択	
受講対象	1、2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	1、2年次後期	時間数	30		単位数	1
授業概要	POP広告クリエイター技能審査試験に合格するための知識、技術を習得する。	到達目標	POP広告クリエイター技能審査試験に合格できるような知識、技術の習得を目指す。			
担当教員	鐵倉 れい子					
実務経験と授業との関わり	長年POP広告作成業務に携わり、日本POPサミット協会の副会長を務めるなど、POP作成に関する経験が豊富である。よって、実際に店舗で使用される実例をあげながら、わかりやすく指導することができる。					
テキスト・教材	プリントテキスト、マーカー類					
成績評価方法	各回の課題と、学科と実技の模擬試験の点数で評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	検定受験指導	POP広告の目的・役割・POP広告とは何かなどを理解する。角ペンでカタカナ・ひらがなの習得	
2	検定受験指導	POP書体 (角ペンで漢字・数字・英字・金額数字)の習得	
3	検定受験指導	POP書体 (丸ペンでカタカナ・ひらがな・漢字・英字・数字)の習得 装飾文字の習得	
4	検定受験指導	レイアウトの習得 ショーカード、プライスカードの制作を習得	
5	検定受験指導	ポスターの制作を習得	
6	検定受験指導	資格取得模擬試験実施による技能の確認	
7	検定受験指導	実技試験のまとめ 販売促進・店舗陳列・照明などを理解する。	
8	検定受験指導	販売促進・店舗陳列・照明などを理解する。 学科模擬試験	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は評価対象外となる。		備考 進度によって指導順序、内容に変更があることがある。

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	(資格取得) リテールマーケティング（販売士）検定3級		履修区分	必修	選択
受講対象	1、2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	1、2年次後期	時間数	30		単位数 1
授業概要	リテールマーケティング（販売士）検定3級に合格するための知識を習得する。	到達目標	リテールマーケティング（販売士）検定3級に合格できるような知識の習得を目指す。		
担当教員	内村 敬子				
実務経験と授業との関わり	アパレル業界の勤務経験だけでなく、自身でも小売業に対するコンサルティング行うなど小売業に対する造詣が深く、検定の指導経験もある。よって、経験からの小売業のポイントを押さえながら検定を指導することができる。				
テキスト・教材	テキスト				
成績評価方法	各回の課題と、模擬試験の点数で評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	検定受験指導	学習指導・支援 ストアオペレーション	
2	検定受験指導	販売・経営管理 ストアオペレーション	
3	検定受験指導	ストアオペレーション 小売業の類型	
4	検定受験指導	小売業の類型	
5	検定受験指導	小売業の類型 マーチャンダイジング	
6	検定受験指導	マーチャンダイジング	
7	検定受験指導	マーチャンダイジング マーケティング	
8	検定受験指導	マーケティング 総合演習	
9	検定受験指導	総合演習 模擬試験	
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は評価対象外となる。	備考